

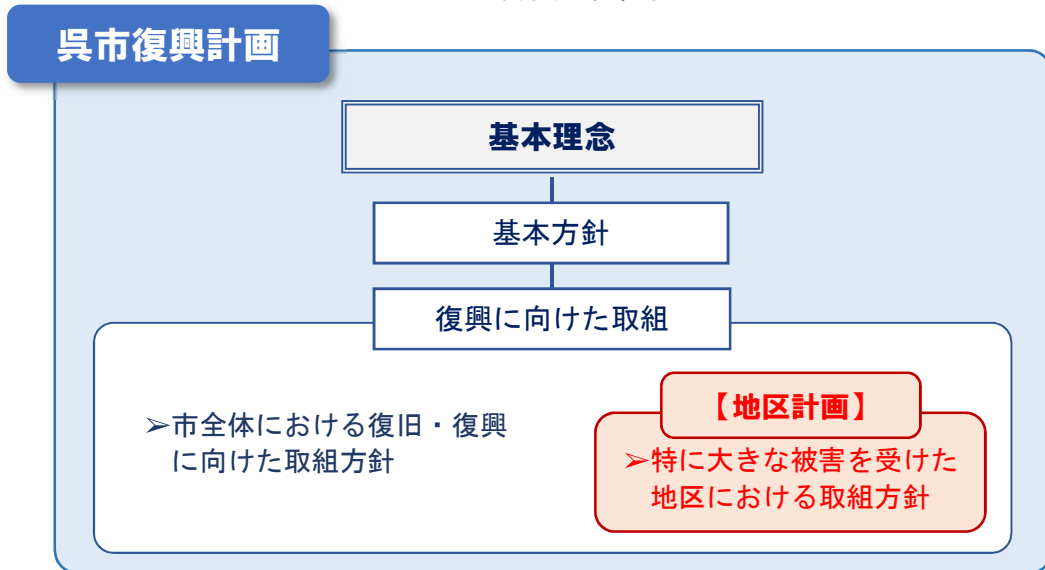
第1章 地区計画の基本的な考え方

1 地区計画策定の趣旨

平成30年7月豪雨により特に大きな被害を受けた地区において、被災した住民が住み慣れた生活圏で安心した生活を取り戻すためには、道路や河川、砂防ダム、農地などの復旧に加え、今後の地区のまちづくりの方向性を見据えた復興の取組を進めていく必要があります。

この呉市復興計画（地区計画）（以下「地区計画」といいます。）は、平成31年3月に策定した呉市復興計画（以下「復興計画」といいます。）の「基本理念」、「基本方針」に基づき、市全体の復旧・復興に向けた取組方針との調和を図りながら、特に大きな被害を受けた地区における復旧・復興に必要な施策の方向性や具体的な取組を取りまとめ、復旧・復興を着実に推進していくために策定するものです。

地区計画の位置付け



(呉市復興計画P24 「4 計画の構成」より)

2 地区計画の対象地区

今回の豪雨により、市内の広範囲にわたって人的被害や家屋等の被害を受けましたが、特に天応地区と安浦地区では、道路や河川等の社会基盤に加え、多くの家屋等が被害を受けたことから、天応地区と安浦地区を対象として地区計画を策定します。

3 地区計画の期間

計画期間は、復興計画と同じく発災から7年先の姿を見据え、平成30（2018）年度から令和6（2024）年度までとし、豪雨災害からの復旧・復興に向けて、段階的かつ着実に取り組んでいきます。

ただし、より長期的視点で取り組むべき課題については、令和7（2025）年度以降も継続して取り組んでいきます。

平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
復旧期		復興期				

4 地区計画の策定に当たって

策定に当たっては、地区住民との協働により、まちづくりに関する考え方を共有しながら取り組むこととし、平成30年度から各地区（安浦地区は、安浦駅周辺地区、市原地区、中畑・下垣内地区の3地区）において、地域団体の関係者や地域住民で構成するワークショップを開催し、参加者が自ら考えた各地区の復旧・復興に向けた取組についての提案を頂きました。

これらの提案を参考に、呉市復興計画検討委員会等の意見を踏まえて地区計画を策定します。

なお、各地区からの提案のうち、全市的に取り組んでいく必要がある項目については、地区計画には掲載せず、市全体における復興計画に基づく取組として整理します。



ワークショップの様子（中畑・下垣内地区）

平成30年12月～令和元年6月

各地区でのワークショップ開催
・復旧・復興に向けた取組についての提案の取りまとめ

令和元年7月

ワークショップからの提案書の提出

令和元年7月～8月

地区計画(素案)の作成

令和元年9月

呉市復興計画検討委員会等による意見反映

令和元年9月

地区計画の策定